

議 事 録

公開・一部公開・非公開			部 分 非公開 理 由		
			文書管理責任者	保存期間	30 () ・ 10 ・ 5 ・ 3 ・ 1 ・ 随
				作成日	2023 年 5 月 25 日
部長	課長	課長補佐	係長	係	記録者所属 企画振興課企画政策係
					職・氏名 主任 西村 一希 印

会議等の名称	令和5年度東御市総合計画策定市民会議	開催日時	令和 5年5月25日（木） 午前・午後10時00分～ 午前・午後12時00分
		場 所	本館2階全員協議会室
主催者(事務局)	企画振興課	司会者	井上企画振興部長
出席者	委員について別紙名簿のとおり、特定特定非営利活動法人SCOP跡部様 井上企画振興部長、岩下企画振興課長、大塚企画政策係長、関移住定住・シティプロモーション係長 曾根川主査、櫻井主査、西村		
欠席者			

議 題	(議題)	(配布資料)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合計画とは ・ 総合計画策定市民会議の位置づけ・目的・役割について ・ 市民意識調査結果報告 ・ グループワーク ・ 	<ul style="list-style-type: none"> 資料1 資料2 資料3
決定事項 (要点を箇条書き)	・ 次回	
次回への検討事項		
次回開催	未定	(場所)

討議内容及び経過	(発言者名)	(発言内容)
1 開会		開会
2 市長あいさつ	花岡市長	令和6年度を計画初年度とする第3次総合計画は新たな時代にふさわしい、持続可能なまちづくりの実現に向けた指針であることから、市民と共有し目標へ向かって歩いていくことのできる計画とすることが重要であると考えており、この会議において、委員の皆様の様々な立場から「市の理想の姿」や「まちづくりに対するアイデア」を頂戴したうえで官民連携による計画の策定を進めていきたい。
3 会議事項		
(1) 全体会議	大塚係長	【資料1】について説明
・総合計画とは		(意見・質問無し)
・総合計画策定市民会議の位置づけ、目的、役割について	西村	【資料2】について説明
・市民意識調査結果報告	西村	【資料3】について説明
	委員	【資料3】について、内容を理解するには時間がかかるため、意見交換の参考にすることは難しいと考える。また、まちづくり審議会で審議を行うのであれば、当会議での意見が薄まってしまうのではないかと懸念している。
	大塚係長	【資料3】については、会議内で読み解いていただくものでなく、今後の会議の参考として当資料を活かしていただきたい。また、この会議の中で議論された意見については出来る限り計画に反映させていきたいと考えている。
	委員	【資料3】の調査の実施状況について、本調査の配布数の信頼度及び許容誤差で数値が示されている。この数値は信用してよいものか。
	SCOP跡部様	調査に関しては元々信頼度95%、許容誤差5%を満たす水準で分析が出来るよう設計している。今回の調査はその設計値を上回っており、有効な結果が得られていると考えている。
(2) 分野別専門委員会		(分野別専門委員会に分かれ、自己紹介、座長の選出、まちの課題及び理想のまちづくりについて別紙のとおりグループワークを実施)
		グループごとの意見発表
4 その他		次回予定について案内
5 閉会		閉会

第 1 回東御市総合計画策定市民会議（2023.05.25）

『分野別専門委員会グループワーク』記録シート

座 長	田中節夫 委員 （市民生活分野）
-----	------------------

まちの課題	
内 容	
①地域づくりとして、里山の遊歩道整備に取り組んでいる。	
②多面的事業により農地の保全に取り組んでいる。	
アンケート結果から市民に「ゴミ分別」がよくないイメージをもたれていることが分かった。	
地域づくりとして、地域公民館のサロンでの活動や農道でのウォーキングに取り組んでいる。	
①地域役員に女性が少ないと感じる。 ②小学校に種子を贈り、種から花を育てることで命の大切さを感じてもらい取り組みをしている。	
インターネットで部落差別を助長するような情報が拡散されたり、市に関連した問い合わせがあるなど人権を踏みにじるような実態がある。	

理想の東御市／目指すべきまちづくりの方向性	
内 容	
①住民が主体となり協力隊の協力も得ながら地域振興を進める。	
②耕作放棄とならないよう、農地の有効活用を図りたい。	
ゴミ分別に関してさらに情報発信・啓発活動をして、ゴミの再資源化を推進したい。	
住民が地域づくりに積極的に関り、居心地の良い、帰って来たくなるようなまちにしたい。	
①男女共同参画の推進	
②命と人権を大切にする。	
一人一人の人権が尊重され、差別のない住みよいまちづくり。	

第 1 回東御市総合計画策定市民会議（2023.05.25）

『分野別専門委員会グループワーク』記録シート

座 長

堀 育夫 委 員

まちの課題

内 容

【市全般】市では福祉・医療、子育てに力を入れているが、1番お金を使う世代（20～50歳台）向けの施設や施策がないと感じる。

【公共交通】定時路線バスやデマンド交通を運行しているが、利用者数が増えない。それでも利用したい人たちがいる。

【公共交通】高齢者が免許を返納するには、この地域ではデマンド交通など公共交通が充実しないと返納できない。またデマンド交通の使い方を知らない高齢者がまだ多い。またデマンド交通の利用料を低額としてほしい。

【環境・脱炭素・ゼロカーボン】暮らしの会で市内スーパーでマイバック調査を行っているが、まだレジ袋に頼っている人も多い。

【健康増進】これからの人生、健康を維持していくことが一番大切。将来的な心配もあるので、公共的な部分での支援が充実してもらいたい。

【総合計画】総合計画の存在について、市民の認知度が低い。

【中心市街地の賑わい】田中商店街が昔に比べて、寂しい。コミュニケーションを取るためにも、飲食店の充実が課題である。

【防災】台風19号災害をきっかけに、市民の防災意識が高まったと感じているが、東御市は他の自治体に比べて「野火火災」が多い。また野焼きをする際は、消防署への届出が必要だが、徹底されていない。

消防団員が定員800人のところ、現在768人で、不足している。消防活動を行っている中で、道路インフラの不便さは感じないが、水利の格のみに課題があると感じている。

【防災】近年の温暖化により、線状降水帯などの発生が頻度が高まり、東御市においても集中豪雨による災害が発生する可能性が高いと感じている。

【防災】軽井沢町では商店街にスピーカーが設置されており、行方不明者の発見につながった。横堰も公民館に設置した。市も全区域の設置を検討してもらいたい。

【防犯】市では防犯灯の設置に力をいれてきたが、今後は防犯カメラの設置に力をいれるべき。

【道路環境】合併して20年経過しようとしているが、まだ旧町村での壁を感じる。お互いに行き来しやすい道路環境整備が必要ではないか。

【市民活動】市民活動団体の補助金が年々減らされている。活動の制限につながってしまっている。

理想の東御市／目指すべきまちづくりの方向性

内 容

【市全般】20～50歳代が活用しやすい施設や施策が充実している。

【公共交通】市民全員が納得できる「快適な公共交通」のあり方が実現している。

【公共交通】デマンド交通の利用者を増やすために、夜のデマンド交通を運行させ、田中商店街から各公民館まで運行するような仕組みを構築する。

【公共交通】高齢者がデマンド交通の使い方が気軽に知ることができるように、出張講座をしっかりとやっていきたい。

【防災】消防団員が定員に達し、水利などが十分確保され、災害が発生した場合、十分対応できる体制づくりが構築されている。

第 1 回東御市総合計画策定市民会議（2023.05.25）

『分野別専門委員会グループワーク』記録シート

座 長

荻原 慎一郎 委 員

まちの課題

内 容

市の農業は生産量・額ともに減少している。資本力の乏しい農家は衰退してしまう。地域内に担い手・後継者が居ない。

AI や ICT 教育には、知識・技術を持った指導者が必要だが、そうした人材が不足しているとともに、育成する仕組みが整っていない。

あらゆる分野で人材不足を解消していく必要がある。

図書館の蔵書は増え、文書館には価値ある資料がたくさんあるにも関わらず利用が少ない。

小中学校のクラス数や教員数が減っている中で、1 割程度居るとされる個別ケアが必要な児童・生徒への見守り補助に地域ボランティアの関りが必要。

（教育現場に関わる身として）不登校や発達障がいのある子への対応については様々なケースがあり、支援に関する手続きが煩雑であることが課題。また、不登校の原因が学校以外に有る場合も多く、苦慮している。

0～2 歳児の支援は、親子それぞれの特性を理解する必要がある、十分な時間と知識を必要とする。

子育て支援（サポート）が親（特に母親）の職場復帰に関する内容に偏っている。この時期は、生涯において重要な期間であることを親への理解を深める取組をあわせて行う必要がある。

理想の東御市／目指すべきまちづくりの方向性

内 容

文化財の保全に苦慮している。文化財の保全には、観光の側面など幅広くとらえ、多くの関係者の協力が重要。

図書館や文書館の市民利用については、計画的な啓蒙活動と資料の中身を知らせることで、研究など様々な用途の可能性が出てくる。

引きこもり支援に関して、気心の知れた人との屋外活動に良い結果が出ている感触がある。

中央公園は多くの人たちが利用している。働いている若い人たちの利用促進をリードしていくことが大切。

中央公園は走る・歩く場所として優れている。着替えとシャワーの場所を設ける事で、働いている若い世代の利用促進が図れる。

市の遊休地活用として、若者が気軽にスポーツ（バスケットボール、スケートボード等）ができる場を設置したらどうか。

多くの人と関わりを持ちたくないという若者が増えている。気の知れた人と気軽に出かけられる場所は重要。スポーツはその良いキッカケになる。引きこもり対策として、こうした人と人の繋がりが自然とできるボランティア人材の育成と確保ができる仕組みが必要。

第 1 回東御市総合計画策定市民会議（2023.05.25）

『分野別専門委員会グループワーク』記録シート

座 長	小池 道子	委 員
-----	-------	-----

まちの課題	
内 容	
	免許を返納した後の足はどうすればよいのか。デマンドバスは行き先が決まっていたり、乗り換えが必要なため使いにくい。
	コロナ禍でホームヘルパー派遣事業所の規模が小さくなったり、閉鎖してしまっており、市外の事業所に依頼せざるを得ない状況である。市の支援が必要。
	給食費の無償化が必要。子育てしやすいまち、Uターンしたいまちにしていけないといけない。
	空き家や耕作放棄地が多い。受け身ではなく、プッシュ型の支援が必要。不登校が県内で一番多いことも課題。

理想の東御市／目指すべきまちづくりの方向性	
内 容	
	不登校を減らすために、学区を外して、自由に好きな学校に通えるように行政が支援してはどうか。自分に合った校風の学校に通うことで、伸びる子もいる。
	デマンドバスの予算を一部使って、必要な人にタクシー券を配布してはどうか。また、デマンドバスの利用が落ち着く 16:00 以降はスクールバスとして活用してはどうか。
	現在配布されているタクシー券（年間 700 円×2回）はあってないようなもの。デマンドバスではなく、タクシー券の配布の方が使い勝手がいい。
	「将来像」とか「理想」とかを決めるのではなく、今できることを足元から進めていくべき。

第 1 回東御市総合計画策定市民会議（2023.05.25）

『分野別専門委員会グループワーク』記録シート

座 長	依田 繁二 委 員
-----	-----------

まちの課題	
内 容	
	担い手がなくなった田や畑が荒廃地となり、その荒廃地を今後どうしていくか
	後継者がいなく、さらに離農者が多い。使われていない農地をどのように活用していくか
	有害生物（ザリガニなど）の影響により水田等の環境が悪化
	物価高騰による必要経費の増加
	課題に対して取組等が継続していかないイメージがある

理想の東御市／目指すべきまちづくりの方向性	
内 容	
	商工業の個人経営の方の活力があふれる取組があるまち
	田に稲が作られている風景などの自然豊かな現状を維持したまち
	林業の立場から水源を確保し農業の振興につながるまち
	農業で生活が出来る市民が増加する（長期的な指導や補助があるまち）
	商工業・観光が盛り上がっているまち
	市内の企業が現在どのような取組をしているのか、どの分野が頑張っているのか市民が感じられるよう、関係する情報が発信されるまち
	縦割りの対応ではなく、市全体として横断的に対応出来るまち

第 1 回東御市総合計画策定市民会議（2023.05.25）

『分野別専門委員会グループワーク』記録シート

座 長	宮下 広将 委員
-----	----------

まちの課題	
内 容	
	<ul style="list-style-type: none"> • 想定する教育が受けられない • 仕事の数はあるが、種類が幅がなく選択肢が少ない • 教育のレベルが都会と比べて低い • 恵まれている環境に現状で満足できてしまっている • アンケート結果を見ても、自分の生活が良ければよいという人が多い • 10年の進み方のスピードが東京と違う • 自分たちの暮らしが良ければよいと思う人が多いのが事実 • 現状維持をし、目に見えるものが変わらないことが大事 • こだわりをもっていれば輝ける市になるのではないか

理想の東御市／目指すべきまちづくりの方向性	
内 容	
	<ul style="list-style-type: none"> • 現状維持のまま底上げをしていくこと • いいとこどりをしつつ、守るものを守っていく • 小さな喜びをゆるやかに積み重ねていけばよいまちになる • 景観の維持が大切だと思う（海野宿） • 東御で楽しく働けることが若者にとって重要ではないか • お金のことを考えず、仕事を作っていく • マクドナルドなど、子どもにとって魅力のある場所があるとよい • 食べる、しゃべる、集まれる場所が東御市にあればよい

東御市総合計画策定市民会議 名簿

任期:R5.4.1~R6.3.31

順不同、敬称略

分野別専門委員会	氏名	出席
市民生活分野	田中 節夫	○
	神津 秀子	○
	小林 敬子	○
	鳴澤 一登	○
	山崎 勝年	
	森 まり子	○

都市インフラ・防災分野	窪田 耕一	
	倉寫 智彦	○
	堀 育夫	○
	原田 京子	○
	柏木 恵子	○
	丸山 貴弘	○
	唐澤 茂幸	

教育・文化・スポーツ分野	土屋 具久	○
	上原 真美	○
	長岡 秀幸	○
	鹿取 ちか	
	荻原 慎一郎	○
	三溝 和子	○
	渡邊 洋子	○
	宮下 知茂	○

子育て・健康福祉・医療分野	小池 道子	○
	星山 直基	
	橋本 悦子	○
	土屋 雅之	○
	小林 妙子	○

産業・経済分野	小夫 真	○
	安原 龍太	○
	依田 繁二	○
	小林 文治	○
	土屋 康二	○
	後藤 正次	○
	坂口 晋一	○
	出浦 一	○
	峯村 文博	

行財政運営分野	小林 佳子	
	三木 明子	○
	宮下 広将	○
	中野 江美	○
	松永 伸太郎	○